



地域に学ぶ

トライやる・ウィーク

令和4年度は、コロナ禍ではありましたが、3年ぶりに、地域の事業所での活動を主とする「トライやる・ウィーク」を各校で実施しました。ご理解・ご協力ありがとうございました。

本年度も引き続き、「学校・家庭・地域」が三者一体となり、「トライやる・ウィーク」を各校で実施します。ご協力をよろしくお願いいたします。

○地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」とは？

平成10年度から中学2年生を対象に実施している**社会体験活動**です。地域や自然の中で、生徒の主体性を尊重した様々な体験活動を通して、**豊かな感性や創造性を自ら高めたり、自分なりの生き方を見つけたり**することができるように支援するものです。

また、その取組を通じて、**学校・家庭・地域社会の連携を深め**、子どもたちを中心とした地域コミュニティ構築へと発展することを期待するものです。

○地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施の背景とは？

平成7年1月の阪神・淡路大震災から得た教訓や平成9年の神戸市須磨区で発生した世間を震撼させる事件を踏まえ、「心の教育緊急会議」等からの提言を踏まえ、命を大切にする心や思いやりの心、規範意識を養うなど、「心の教育」の充実を図るため、地域の方々の参画と協働による地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の取組を開始しました。

「トライやる・ウィークを終えて」

～令和4年度「トライやる・ウィーク」事後アンケートより～

【生徒】

- 給食センターでお世話になり、給食を作るまでにとっても大変な下処理をしていることを知りました。これから給食を残さず食べたいです。
- 接客のときはお客さんの笑顔を見ることができ、嬉しかったです。「頑張ってるね」と言ってくださる方もいて、心が温かくなりました。



【保護者】

- コロナが続く中、受け入れて頂いた施設に感謝の気持ちでいっぱいです。子育てプラザで、小さい子を抱っこさせて頂いたり、子育てのお話を聞いたり、貴重な体験をさせていただきました。
- 自分の目で見て、感じて、本物体験こそが人を成長させると改めて考えさせられた1週間でした。

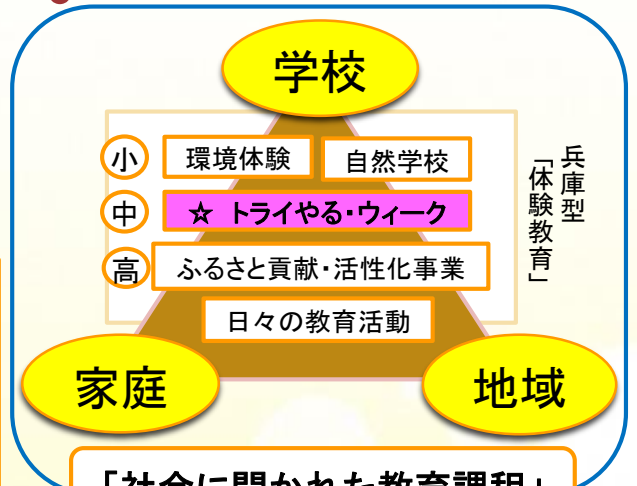


【受け入れ事業所】

- ちょうどお仕事を覚えてきたタイミングで終了となり、寂しくは感じますが5日間の成長が見られて、こちらとしても勉強になる5日間でした。



子どもたちの生きる力を育む 地域総がかりの教育



「社会に開かれた教育課程」

☆「トライ」は、「挑戦する」と「学校・家庭・地域のトライアングル」を意味しています。

おとなになっても…

～令和4年度で25年目を迎えました～

トライやる・ウィークで保育園を経験しました。その時の子ども達に実際にふれ、愛おしさ感じたことが原点になり保育士を目指しました。あの愛おしい気持ちが生まれなければ、今現場にはいなかったと思います。(保育士)



トライやる・ウィークで、東消防署に行き消防士になりたいと思いました。実際に消防士になってみると、再度基本の大切さを感じました。(消防士)



加古川市教育委員会